令和８年度　衆議院海外派遣　報告書概要

令和８年９月３日

１．団名
衆議院オーストラリア連邦における環境保全状況等調査議員団

２．目的
オーストラリア連邦における環境保全状況等調査のため

３．派遣議員団

団長	環境委員会　委員長	宮路　拓馬	（自民）
	環境委員会　理　事	勝俣　孝明	（自民）
	同	池下　　卓	（維新）
同行	委員部第六課課長補佐	朝野　敬幸	

４．派遣期間
令和８年８月 17 日（月）から 24 日（月）までの８日間

５．派遣国
オーストラリア連邦

６．主な調査内容
（１）ニューカッスル
① MCi Carbon 社を訪問し、CCU（Carbon dioxide Capture and Utilization：二酸化炭素の利用）の取組について説明を聴取するとともに、回収した二酸化炭素を固定化する施設の視察を行った。
② Orica 社を訪問し、脱炭素化への取組としてアンモニア製造における二酸化炭素の回収及びハンターバレー水素ハブプロジェクトについて説明を聴取するとともに、アンモニア及び硝酸アンモニウム製造施設の視察を行った。

（２）シドニー
① ニューサウスウェールズ州気候変動・エネルギー・環境・水省を訪問

し、アンソニー・リーン次官から、生物多様性の保護、資源循環、温室効果ガス削減、CCUS（Carbon dioxide Capture and Utilization, and Storage：二酸化炭素の利用及び貯留）、サステナブルツーリズム等について説明を聴取し、意見交換を行った。

② 住友林業グループからオーストラリアにおける住宅供給、都市計画事業への参画、環境規制について説明を聴取するとともに、シドニーの住宅展示場及びランドスケープ公園の視察を行った。

（３）キャンベラ

① 戦争記念館を訪問し、献花を行うとともに、同館の視察を行った。

② ケイト・スウェイツ気候変動適応・強靭化担当特使と面会し、オーストラリア連邦における脱炭素化、気候変動の取組等について意見交換を行った。

③ 気候変動・エネルギー・環境・水省を訪問し、マイク・カイザー次官から連邦政府における外来種対策、資源循環等の取組について説明を聴取し、意見交換を行った。

④ ヴァルン・ゴーシュ連邦議会上院環境通信委員長と面会し、再生可能エネルギーの導入、オーストラリアにおける資源採掘と環境保護の在り方等について意見交換を行った。

（４）タスマニア

① タスマニア州天然資源・環境省を訪問し、ドゥイガン同州公園・遺産大臣とオンラインで面会するとともに、ジャコビ次官同席のもと、固有種の保護、サステナブルツーリズム等について説明を聴取し、意見交換を行った。

② 北三陸ファクトリーを訪問し、IMAS（タスマニア大学海洋・南極研究所）同席のもと、ロングスパインウニの繁殖対策について説明を聴取するとともに、IMAS の固有種の保護活動の施設の視察を行った。

③ ボノロング野生生物保護区を訪問し、種の保存及び生物多様性保全の取組並びに保護活動の運営等について説明を聴取するとともに、野生生物の保護活動の視察を行った。

④ ポートアーサーを訪問し、サステナブルツーリズムとしての世界遺産の一つである囚人遺跡の運営等について説明を聴取するとともに、施設の保護や観光客への対応等について視察を行った。

⑤ シーフォレスト社を訪問し、家畜由来の温室効果ガス削減への取組について説明を聴取するとともに、カギケノリの養殖研究施設及び陸上

養殖施設の視察を行った。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。